

子どもが笑う・輝く、子どもがまんなかプロジェクト

総事業費460,8402千円
(うち対象事業費45,000千円)

福知山市

福知山駅・福知山城周辺地区

事業の概要・背景

【概要】

福知山城公園周辺地区を子育てにおける「出会い・交流・学びエリア」とし、福知山城を中心とした福知山市の歴史を学ぶと共に、そこに鉄道館を建設することで、鉄道と共に発展してきた福知山市の歴史・文化も学んでいただく。また、駅周辺エリアに立地する図書館で整備する電子書籍を活用し、鉄道館や福知山城など現地で調べ、学びを深めることのできる体制と、ゆらのガーデンなどで子育て世代同士が交流できるようにエリアを一体的に考える。

【背景】

福知山駅周辺地区にある福知山市図書館(中央館)は、子育て世代の利用が多い。また、福知山城周辺では、福知山城天守閣を核として丹波生活衣館や佐藤太清記念美術館などの歴史・文化を学ぶ施設があり、また、飲食店などが並ぶ芝生の広がる「憩いの広場ゆらのガーデン」など、子育て世代の交流に適した施設を内包しているが、各施設の連携が十分とは言えない。一方、京都府の「子育て環境レーダーチャート」による分析では、本市は、有配偶出生率に影響する生活利便性などは高いが、人々の繋がり、伝統文化、子どもの頃の経験といった地域コミュニティ関連は平均値を下回っている。

主な事業

◇: 交付対象事業
◆: 関連事業

- ◇電子書籍・児童書籍の購入(ソフト)
- ◇新しい鉄道館の体験型コンテンツ製作(ハード)
- ◇竜王戦の開催された福知山城を舞台とした子ども将棋大会(ソフト)
- ◆新しい鉄道館の建設(ハード) ◆小さな絵画展(美術館・ソフト)
- ◆夏休み藍染め講習会(生活衣館・ソフト)

成果指標

- 新しい鉄道館の来館児童等へのアンケート満足度
- 電子書籍の貸出し冊数(小学生・未就学児)
- 子どもを健やかに育てていると感じている人の割合

令和4年(基準値)

—

53,727冊

—

令和8年
(目標値)

R8/80%

R6/11万冊

R8/100%

モデル性に係る取組(実現性・継続性・創意工夫)

ポイント

子育て世代が本市の歴史・伝統を学びつつ、出会い、交流するエリアを設けること。

他団体と連携した、子育てに取り組むまちづくり

- 市の玄関口であるJR福知山駅前にある図書館では、育児書籍や子ども用書籍を多数そろえており、読み聞かせイベントなど実施。
- 子どもが楽しめるコンテンツを揃え、併せて鉄道と共に発展してきた福知山の歴史を学ぶことが可能な鉄道館の建設。
- 鉄道館の企画・運営を考える検討会議に子育て団体や公立大学などの参画を求める。
- 電子書籍を活用し、鉄道館に図書館機能を持たせるとともに、福知山城周辺で市の歴史・文化を学べる体制を整える。
- 憩いの広場ゆらのガーデンで、子育て世代同士の交流が図れるように、エリアを一体として考える。
- 新しい鉄道館館内には、ベビールーム(授乳・オムツ替え室)やベビーシート完備の多目的トイレを整備し、子育て世代にやさしい施設を目指す。

